

The service club to the YMCA

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ  
〒662-0977 西宮市神楽町5-23  
西宮YMCA内  
Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2020年5月会報 第377号

## 主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

主 題 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

標 語 さあ動こう On the MOVE!

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

主 題 アクション! Action!

標 語 誇りと喜びをもって With pride and Pleasure

西日本区理事(RD) 戸所岩雄(彦根シャトー)

主 題 風となれ、光となれ

副 題 こころ豊かにあるために、輝くために

六甲部長 柏原佳子(芦屋)

主 題 スピンネーカーの帆に風を集めて

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 ときめきライフをワイズ活動で!

今月のテーマ: LT(リーダーシップ・トレーニング)

リーダーシップを学んでください。クラブ・部・区などあらゆる機会にリーダーシップの学びの場があります。全てを有意義に捉え、スキルアップして、リーダーシップを身に付けてください。

鵜丹谷 剛 ワイズリーダーシップ  
開発委員長(神戸)

### 2020年5月例会

日 時 : 2020年5月13日(水)18:30

場 所 : 宝塚市立西公民館パーティー室

新型コロナウイルスの「緊急事態宣言」に伴い

慎重に対処を旨として4月14日ビデオ役員会で

5月例会を「休会」と決定しました。

2019~2020 役員	会長 多胡 葉子 直前会 青柳 美知子 副会長 石田 由美子 書記 若林 成幸 会計 小林 康男 堀江 裕一 吉田 明 会計監査 加藤 光信 今田 和子 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子 六甲部地域・環境主査 青柳 美知子
誕生日	長尾 亘(7日) 小林康男(24日) 鯖尻佳子(23日) 杉谷和代(26日) 井上 聖(30日)
(休会) 4 月 実 績	例会出席者数 0名 在籍会員数 21名 出席会員数 0名 出席率 0% メイクアップ(内数) 0名 メネット 0名 コメント・孫ネット 0名、 ゲスト・ビジター 0名 例会充足率 0%
	BFポイント 4月 0円 累 計 25,716円 にここBOX 4月 0円 累 計 45,000円 ファンド(物品販売) 0円 累 計 32,300円

## 聖句

イエスが深く憐れんで、手を差し伸べてその人に触れ、  
「よろしい。清くなれ」と言われると、たちまち重い皮膚病は去り、その人は清くなった。  
(マルコ福音書 1:41-42)

## 随想

わが国でも新型コロナウイルスの感染は収束せず、GW明けまでとされた緊急事態宣言も5月末まで延長となりました。感染者や犠牲になった方は著名人にも及び、軽症の人がなぜか突然重症化するという恐ろしい病態も明らかになっています。

少し前ですが、先月も言及したイタリアでは、聖職者(カトリック司祭)に医師を上回る数の犠牲者が出ているという報道がありました。「終油」という sacrament のために感染者の臨終に立ち会った神父さんが感染し、もともと高齢者が多いことからたくさんの死者が出たようです。それに先立ち、フランシスコ教皇が神父は感染者にも会いに行く勇気を持つよう求めたことが、日本では批判的に受け止められているようですが、キリスト教圏ではやはり、賞讃する声も少なからずあるようです。

ローマ帝国時代のキリスト教徒たちの姿を伝えるエウセビオスの『教会史』という本には、当時頻発した飢饉や疫病の際に、キリスト教徒たちの振る舞いがいかに異教徒と異なっていたかが描かれています。異教徒たちは疫病の犠牲者を家族でさえ見捨てたが、キリスト教徒たちは彼らを見捨てず最後まで看取り、やがて自らも同じように死んで、同じように看取られるのであった、と。そしてそういうキリスト教徒らの姿が多くの人々の口に上ったといいます。この本はかなりキリスト教徒の身内びいきで書かれていて、どこまで史実か問題もありますが、キリスト教がなぜこの時代に滅びることなく生き抜き、その後の時代をもたらしたのかという理由の1つには、恐らくそうした側面もあるのでしょう。

こうした古代キリスト教徒たちやイタリアの神父さんたちの姿には、確かに信仰の証という面があるでしょう。神は私たちをも必ず復活させてくださるという信仰こそ、彼らを下支えしていたものだろうからです。

しかし、それでも私たちは前回に続いて今月もやはり、科学的態度が不可欠だ、という聖書に書いていないことを、ここにもう一度繰り返すべきだと思います。この聖句の場面で患者に直接触れたイエスの業の本質は、犠牲を恐れない勇気というより、この人に向き合おうとする愛にある。もし私たちが同じように人に向き合い続けようとするならば、自分は絶対に感染してはならないはずだからです。

これからも隣人と共に生きて行くためにこそ、「自分は絶対に感染しない！」そんな決意を固めることもまた、今日の信仰的な証と言えるのではないのでしょうか。

金田 俊郎

## 4月14日 ビデオ役員会報告

Covid19 の緊急事態宣言を受け4月第1例会及び第2例会を中止したが、今後のクラブ運営を協議するためクラブとして初の Line ビデオ役員会を行った。出席者：多胡会長、長尾、石田、小林、若林。  
議事要旨は次の通り。

### 1. 今後の例会運営について

- ・5月例会…緊急事態宣言期間の直後であり慎重対応を旨とし「第一例会は休会」とする。
- ・5/10 頃にビデオ役員会にて第2例会の可否、その後の運営を検討する。
- ・6月例会(反省と評価)と次年度計画策定に備え、毎年7月配布の資料集を前倒して作成する。

### 2. ブリテン5月号について

- ・ブリテンは例会開催の有無に拘わらず継続して発行し、第2例会がない場合は、会務の遅滞なきを役員会報告として掲載する。
- ・会員の近況報告を募集し、コミュニケーションを維持するツールとして活用する。
- ・西日本区・六甲部等の諸事業の中止・延期等の確定情報を掲載する。

### 3. 会計から報告

- ・西日本区への諸献金の報告を受け、その他諸団体への寄付等は昨年実績を参考にして送金すること承認した。Yサ 42,000 円、CS 31,500 円、TOF 15,000 円、BF 31,500 円、YES 4,200 円、  
なお、CS は次回例会にて各人から献金を求める。  
その他：社協 10,000 円、IL センター10,000 円、自立の家、兵庫子供財団、SO 兵庫、障害者スポーツ教会などの地域への献金に関しても例年通りとする。
- ・年度末にあたり年会費の完納を呼びかける。

### 4. ワイズ関係諸集会の中止・延期情報(確認)

#### 中止

- 1) 六甲部評議会(3月20日)
- 2) きらりと輝くアート展(4月28・29日)
- 3) 神戸ポートチャリティコンサート(5月24日)
- 4) 東日本区大会(6月6日～7日)
- 5) 西日本区大会(6月13日～14日)
- 6) デンマークでの国際大会(8月14日～16日)
- 7) 西日本区事務所閉館(非常事態宣言期間中)

#### 延期

- 1) 神戸 YMCA 総主事と六甲部各クラブ会長との懇談会
- 2) 京都ウエストクラブ40周年記念事業

### 5. その他

- ・グーグルフリーメールへの移行状態を確認し、個々の問題点は都度解消を目指す。(長尾)
- ・例会の休会に伴い EMC 報告に齟齬のないように努める。(鯖尻・若林)

書記 若林成幸

## ありがとう医療関係の皆様！！

### メンバー近況一言

#### この時期に思うこと

多胡葉子

コロナウイルスの広がりが日本へ入ってきて3ヶ月以上の日々になる。ワイズ活動も中止をせざるようになって2ヶ月以上になる。

いつまでこの状況が続くのか不安の日々。特に非常事態宣言後はまるで日本中、世界中が死の街になっている。そのような中で人との繋がり大切さを実感する、テレビ、電話、携帯、スマホ、パソコンなどなどを屈指して繋がっていると感じられるのは現時代の賜物。ワイズ活動もこの長引く事態にどのように繋がりを持ち互いに励まし合い、事態が収束した時により深い絆で活動が再開できるかが問われていると思う。

各クラブのブリテン、西日本区などからの情報、IPからのニューズレターなどなど次々と送られてくる情報をこの時期ゆっくりと読むことはお互いの繋がりにもなり、ワイズ活動を再認識するためにも有意義に思われる。

#### 小さな寄り添い

私が25年以上関わり活動してきた地域の70歳以上の同窓生を中心とした家族、友人などとの交流グループがある。

このグループ活動は阪神大震災を機に寄り添いの大切を学んできた。

今回私たちは小さな寄り添いの気持ちを居ながらにして届ける方法として手作りハガキに心を込めてメッセージを記し約170人の先輩方へお届けした。

数日後には思いも掛けずいぶん多くの方々からお礼の葉書が送られてきて、長年の交流を通しての繋がりに改めて感謝の思いを感じた。

## Stay at home, talk by LINE !

石田 由美子

週休2日ペースで出かけていた私がひたすら家ごもりの毎日。1週間過ぎると曜日が分からなくなって来た。「金曜日はカレーにしたら？」と言うアドバイスに「なるほど」と感心するも誰がそれを教えてくれるの？と言うところでストップ。

そんな中毎週水曜日朝、元の仕事仲間5人で去年から始めた生存確認(?)LINEメッセージ、名付けて「Life LINE」は大いに役立つ。誰かが発信し短文でも返信があれば「生きてる！」を確認。これで週の真ん中と生存を知る。

先週からLINEのビデオトークをスタート。グループ名は「わいわいわいず」。

メンバーは2010年から今期まで歴代の交流事業主任8名。名古屋、京都、奈良、岡山、熊本から参加。

大会や部会でいつも交流事業系「その筋」がポーズを決める恒例集合写真。今年は西日本区大会開催が中止になりオンラインで交流を温めようと誕生。困るのは喋りたい人ばかりで時々うるさ過ぎ。まずは4月25日、21時から「カフェ・わいわい」として開店した。それぞれ好きな飲み物を持って。これで曜日の確認はもう1つ増える上、ワイズの繋がりを更に強く感じるいい時間だと家ごもりに感謝。



## 私と Covid19:

杉谷和代

コロナウィルスの拡散が始まって3か月経過してもまだまだ出口が見えない状態の中、私たちの生活は一変し将来に暗い影を落とします。アメリカの放送では深刻にとらえる人、前向きに楽天的にとらえる人などいろいろです。この苦境を克服すれば私たちは違う人間になるだろう。乗り越えた恐怖、我慢、協力を思い起こせば、人々の成長がありよりよい生き方をするだろう、前向きに楽天的になりましょう！というのです。元気をいただきました。

私のシアトルの学校も対面クラスは閉鎖し、帰国できない生徒、アマゾンの家族など少ない生徒だけで Online クラスを開始。私は登録なしでボーナスハッピーアワー(日本時間朝7時 火曜から土曜)に招待され自由参加で Zoom で友人や先生の顔を見て会話をすることがあります。このような挑戦も Covid19 にアタックされている今だから体験できること。ポジティブに考えて将来が開けることを考えるのもいいことでしょう。すべての行事がキャンセルになり時間をいただき、ただいま健康を見直し、治療に専念中です。

## “コロナ禍雑録“

若林成幸

2/25 から始まったコロナ危機回避の処方「外出自粛」で全ての活動予定がキャンセル。唐突に襲った長〜い空白、暇つぶしの山歩きとなった。

3/9…甲山へ、神呪寺で平和の鐘を突く。17,023 歩 11.9Km。3/12…芦屋川駅からロックガーデンを経て六甲山頂へ。25,246 歩 17.7Km。脚力に老いを感じる。このルートの次はあるだろうか、山頂で記念撮影。有馬温泉へ下り金の湯で疲れを癒す。

3/25…宝塚・塩尾寺から白瀬川源流域を経てゆずり葉台へ。六甲山系から染み出た水滴が白瀬川となり武庫川にそそぐ。19,596 歩 13.7Km。4/3… JR 名塩駅から旧福知山線廃線敷を武庫川溪谷に沿って。真っ暗闇のトンネル数個を抜けると笹部新太郎翁ゆかりの美しい里山、亦楽山荘こと桜の園。花見台で弁当を済ませ武田尾駅近くの足湯場で居合わせたハイカーと談笑。16,931 歩 11.8Km。4/17…中山観音から奥の院を経て清荒神へ。赤い社殿が日に映え、多くのハイカーが集う奥の院。その後、大林寺を経て清荒神へ。大林寺で出会ったハイカーが狸を見つけた、と。息を凝らして逃げたあ



たりを探っていると、目の前の木陰に冬毛の尻尾を蓄えた一匹が。咄嗟にシャッターを切る、捕らえたぞ！ ひっそりと佇む清澄寺の境内を巡り、ついでに自宅まで歩き

続ける。17,971 歩 12.6Km。



## Saty Home !

武田寿子

春の日差しが暖かく、一年で一番好きな新緑の季節なのに、世界中がコロナに苦しめられワイズ活動も中止や延期です。最前線で感染された方の治療や予防に懸命に努力されている医療現場の方々に感謝の日々ですが、わたくしたち出来ることはまずは Saty Home ! 私は日頃できなかった家の掃除や書類の整理、読書、そして描きかけの絵の完成！免疫力を高める3度の食事！そして時々孫の学童保育。幸い近隣の甲山仁川付近は春の花や新緑が鮮やかで、散歩に事欠きません。ガス・水道・電気が使えなかった阪神大震災を思えば、ネットで情報交換できるし、恵まれた時間なのかもしれません。ワイズとして連帯すれば、支援の届かないところに何かできるのではないかと試案中！



## 「高齢と共に」

加藤光信

仏の心理学者のジャイネは、心理学的には時間の長さは、その人の年齢の逆数に比例すると言う。80才の時に感じる1年は、10才の時と比べると1/80対1/10で、8倍も早く感じるそうです。ついこの間お正月から2月例会後は、コロナ感染で中止となり、早や5月。時の流れは速いものだと痛感する。この間の日々は決して無駄なことはしていないが、振り返って見ると一体何をしていたんだろうか、「いたずらに過ごした日にやに見えてくる」この頃です。

## 体力維持に努力

今田和子

老人は役に立つことができず歯がゆい昨今です。マスク作りもゴムテープの追加ができず心ならずも休止中です。運動不足の体力低下をおぎなおうと、ひたすら歩いたりテレビの体操などをしてはいますが成果の程はいかほどか？趣味の絵画も外出してスケッチというわけにいかないのでも30年ぶりぐらいに鏡を見つめながら自画像に挑戦してみています。はじめのうちはすらすらと若い婦人像ができましたが、描き進めると真実のシワを描かねばならず……。そこで頓挫したままです。

## 毎日、自分で体のチェック

長尾 亘

4月12日、日曜日の夕方に熱が出まして敏感に成り、月曜日の朝、熱を測り無かったのですが行きつけの病院に行きました。病院の窓口で「熱が出ました」と言うと「保健所に指示を仰いで下さい」と言われ診察も無く家に帰り保健所に電話しました。そして、保健所の質問は「コロナ患者と接触しましたか？最近海外から帰国しましたか？熱が有りますか？」で、いずれもNOと答えると最寄の病院に行ってくださいと「たらい回し」でした。自分で体調を管理する事で、一番は熱が4日続く事でその間、食欲が有り、味覚、嗅覚が感染の目安かなと思いました。それから、毎日体温を朝、昼、寝る前に測る事を習慣としてスマホにデータを入れて確認しています。そして今日3週間一度も熱が出ないし、食欲もあり、味覚、嗅覚もあるのですが、自宅待機(ステイホーム)守って来ました。しかし、「ステイホーム」を守ると運動不足を感じ、最近熱を測ってから、「三密」、マスクを忘れずに歩いています。早くコロナが終息して写真を撮りに歩けるのを願っています。



## COVID-19による巣ごもり体験

福田宏子

4月7日に緊急事態宣言がされて以来、外出はほぼ禁止、自粛の要請がされた。フランス人のバカンス感覚を持ち合わせない日本人には一種、拷問のようにも思えるのではないだろうか。学校、保育所等も休校、休園となり、私自身も一種、自由な時間が与えられた。

普段、なかなか落ち着いて出来ない読書と思い、読書三昧にしようと思った。早速本屋に出かけ、7、8冊、小学校1年生になる孫の問題集を数冊買い求めた。買い求めた本は次々と読破！新しい考え、発見、驚き等があり、大いに刺激を受けた。

40歳を迎える直前に幼児教育を学ぶ機会が与えられ、当時学んだことを懸命に思い出そうと試みた。孫との付き合いは、数日は好調に過ぎたものの、徐々に反抗態度が増し、こちらも頭にくること数知れずという状態となった。わが子の時代のことと比較すると、現代の児童がいかにある面では知識等が豊富であるかを思い知らされた。これもIT等の発達故、過多の情報、モラルに欠ける衣食住等をはじめ何事にも置ける飢え、危機感の欠如の表れでないかと大いに痛感した。誰に似たのか饒舌である孫との会話は時には我々を大いに笑わせてくれ、彼女の世界も楽しもうと思った昨今である。



## コロナキャンセルと私

青柳美知子

3月の末に身体を壊した私は「どこへも行けない」よりそのコロナキャンセルを利用して身体を立て直しや、桜やミツバツツジの咲く散歩道でわらび取りを楽しみました。一ヶ月経った今では、拡大する感染者や悲愴な医療現場だけでなく、それに伴う世界中の多くの人達の切実な苦しみや悲鳴、社会の歪み等どんどん聞こえて来たり、とうとう世界の大国同士が「罪のなすりあい」が始まったり、人間の弱さを見せつけられ、ただ悲しくて仕方がない。

方や、ばーばの毎日は近くの山で50年ぶりのわらび取りや、50年ぶりの納戸の片付け(終活)、皆さんとの手紙や電話、フェイスブック、孫娘とのクッキング教室、ビリビリに破れている(猫の仕業)障子の張替え等と、とめどなくあるのに、何故か今の所だらだらしているのが現実。

## 近況報告

鯖尻佳子

新型コロナウイルスの影響で家の中で過ごすことが多くなりました。お花の教室や花展、会議も全て中止になりまた教えに行くことも出来なくなりました。家の中で毎日少しでも快適に過ごすにはどうしたらいいかと考えて家事は丁寧にもまた庭の花の手入れもしたのでいつもより春の花々が美しく咲いてくれました。お花を眺めるのも心癒されます。後は昔好きだった刺繍や刺し子をしたりして午後は過ごすようにしています。後は散歩で運動不足解消に努める毎日です。一日も早く終息するのを祈りながら。



## 緊急事態宣言の中！

西川勝久

皆様ご無沙汰しています。緊急事態宣言化中ですが、「三田子ども発達支援センターかるがも園」は、通常通りお子さまたちも毎日元気に通園されており、私も働かせていただけています。先日は4回に分散させて、新緑の森の中を歩き、たけのこ堀を楽しみました。まぶしく輝く芝生の園庭で元気に過ごしています。5月には芝生のポット苗づくり、6月にはポット苗植え作業も予定しています。また落ち着かれましたら是非お越しください。







## YMCA だより

コロナ対策で忙しく原稿はお休みいたします。確認は神戸YMCAのホームページでお願い致します。

### 2019-2020 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

事業委員		(委員長)		特別		(委員長)		
	Yサ・ユース	武田 壽子	西川 勝久	事業委員	NGO 連絡協 議会	鯖尻 佳子	堀江 裕一	福家 清美
	地域・環境	青柳 美知子	風早 寿郎		じゃがいも	小林 康男	吉田 明	風早寿郎
	EMC	若林 成幸	鯖尻 佳子		市民クリスマ ス	若林 成幸	吉田 明	長尾 亘
	広報・ブリテン	長尾 亘	福家 清美		〃		石田由美子	多胡 葉子
	交流・ファンド	福田 宏子	石田由美子					